

2021年度 第9回 総 会 議 案 書

● 日 時 2021年5月29日（土） 午前9時30分～

● 場 所 セイセイビル 401会議室

特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会

(次 第)

議 事

- 1: 理事長挨拶
- 2: 議長選出
- 3: 2020年度の活動報告
- 4: 第1号議案 2020年度事業報告及び事業収支決算報告
 - その1. 2020 年度事業報告
 - その2. 2020 年度収支報告及び決算
- 5: 第2号議案 2021年度事業及び事業収支予算
 - その1. 2021年度事業方針
 - その2. 2021年度事業計画及び予算
- 6: 第3号議案 2021年度人事
- 7: 第4号議案 議事録署名人の選任

意見交換会

本総会議案は2021年4月24日の理事会で審議され、その後の修正については全役員参加のメールにて意見調整を行い、2021年5月19日を以て理事会による承認が完了した。

理事長挨拶

「平成 17 年 3 月の生駒総合病院閉院後、市民集会の開催や署名活動などにより生駒市立病院の創設のために積極的に活動していただき、管理運営協議会設置など市民参加による病院運営の提案をいただきました。また、開院後も市立病院をもり立てるため、イベント等の共催など様々な活動などにより、市立病院の発展にご尽力いただいています。具体的には、講演会開催、イベントへの協力、ワールドカフェの開催などにより、市民に対しての啓発活動を積極的に推進し、市立病院と市民との橋渡しをする強固なパイプ役としての役割を担い、地域医療の発展に大きく貢献していただいています。」これは生駒市政 50 周年記念事業で「生駒市を支えてくれている人・団体」として生駒市の地域医療課から当会を推薦していただいた言葉です。

昨年から今年にかけて世界は未曾有の感染症拡大に見舞われ、これまで経験したことのない状況を呈しています。日本ではすでに 3 回の緊急事態宣言を経験し、ここにきて特に近畿圏でこれまで以上の感染者数を記録しています。

このようなコロナ禍の中で国民の活動は制限を余儀なくされ、あらゆる活動が委縮し、あるいは崩壊し、生命の危険と背中合わせの毎日を過ごしています。このときこそ私達地域医療を育てる会が市民にできることがあるとの思いから、私達は市立病院とコロナ感染症対応について意見交換し、市民が知りたいことをピックアップして生駒市に投げかけ、コロナに関する情報や生駒市の医療や介護の直面している状態を、生駒市を介してキャッチし、それを市民に発信しました。

当然当会も活動を制限され、予定していた事業はできなくなりました。一番残念だったのはワールドカフェができなくなったことです。生駒市民の医療に関する幅広い意見を聞く絶好の機会をこれで失い身動き取れない状態になりましたが、それでも「もしバナゲーム」をやるなどの挑戦を試みました。コロナ禍は地域を直撃し、高齢者の生活支援活動に踏み出したばかりの生駒市のモデル事業は動きが取れなくなりました。一方第 8 期介護保険事業計画案のパブリックコメントへの当会からの意見によって『やまと西和ネット』の取り組みへの協力・支援」が追加されたことは良かったことです。当会の 3 つのプロジェクトはコロナ禍の隙間を縫って果敢に活動をつづけ、はじめに紹介したような生駒市から「生駒市を支えてくれている団体」としての推薦をいただいたのでした。

これからは with コロナを常態と考え、その中での”新しい活動様式”を編み出していく必要があります。あくまでも市民に根差して努力を積み重ねていくことによって、「手ごたえ」をつかめると信じて前進していきたいと思えます。みんなの意気込みこそが大切だと思っています。

(追記) 医療崩壊が現実のものとなりました。コロナ感染者が入院できず、在宅のまま死亡するという最悪の事態が頻発するに至って、国民に危機感が走っています(5月5日時点の全国の自宅療養者数は2万8823人。他に宿泊施設、介護施設にも多数)。この感染爆発がさらにひどくなるとどうなるのかを考えてしまいます。私達の会は地域の医療や介護をどうすればよいかを考えながら活動方針をつくりましたが、これらの方針を実施していく中で、医療や介護の崩壊が起こる現実に向き合って、改めてどうすることが必要なのかを問い直す必要を感じます。

2020年度の活動報告

2020年度の活動報告

敬称・役職名略

日時	内容	場所	参考（理事会の主な議題など）
2020年 6月27日	第8回総会	たけまるホール 第6研修室	正会員総数24人、出席者15人、委任状3人
6月27日	臨時理事会	同上	新役員により理事長選出
	県に事業報告を提出	県庁	沢田理事
7月8日	病院PJ: オンラインインタビュー試行	自宅	テーマ: 市民1名、伊木ま・奥田
7月11日	介護PJ: 学習会	セイセイビル 401	介護保険制度(総合事業)について (生駒市の出前講座) 地域包括ケア推進課: 後藤課長・澤部係長 長島・長谷川・伊木雅・伊木ま・奥田・小田・加来洋・沢田・宮内・湯川
7月11日	第1回理事会	セイセイビル 401	・市立病院への質問・懇談(コロナやPJ活動関連事項について)を計画 ・各PJの今後の活動(8/29ねっとPJ説明会決定)
7月11日～	「宇陀けあネット」導入効果調査報告書」取寄せ調査	自宅	やまと西和ネットと同じシステムである「宇陀けあネット」が短期間に多くの同意市民を得た理由を中心に
8月3日	病院PJ: 地域医療課との懇談	市役所	救急医療体制他 (伊木ま・奥田)
8月21日	市立病院との懇談	市立病院	コロナ対応他 市立病院: 遠藤院長・岸田事務部長・吉松総務課長 NPO: 長島・長谷川・伊木ま・沢田
8月21日	介護PJ: 地域包括ケア推進課との懇談	市役所	長島・湯川・伊木ま
8月21日	介護PJ: 地域包括支援センター職員との懇談	市役所	後藤地域包括ケア推進課課長、地域支援センター職員 NPO: 長島・伊木ま
8月21日	地域医療課との懇談	市役所	「宇陀けあネット」調査から得た自治体の役割について 桐坂課長補佐、吉村係長 NPO: 長島・伊木ま・長谷川
8月22日	第2回理事会	ららポート研A	・市立病院やコロナについての情報発信について ・PJの活動について ・理事長作成資料「総会議事録作成の手引き」配布(協議未実施)
9月12日	ネットPJ: 会員向け学習会	セイセイビル 401	講師: 長谷川PJ担当 (詳細: 事業報告) 参加者: 会員9人、非会員3人
9月5日	病院PJ: オンラインもしバナゲーム試行	自宅(日本・デンマーク)	久保田もしバナマイスター、伊木ま・湯川(日本) // 奥田(デンマーク)
9月23日	生駒市との懇談	生駒市役所	テーマ: コロナ対応について

			介護保険課（吉村課長・福山課長補佐）、地域医療課（石田課長、桐坂課長補佐、吉村係長）//長島・伊木ま
9月26日	第3回理事会	ららポート研B	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への情報発信について：市立病院についてはコロナに係る偏見誤解を生む可能性を考え発信しない、コロナに関しては発信を検討する。 ・病院PJ：開催要望のあったもしバナゲームの実施以外は奥田理事帰国まで活動休止の申し出があり了承された。
10月17日	ららポート主催「やってみよう！on line 会議」	ららポート	伊木ま参加
10月26日	第4回理事会	ららポート研A	・「コロナについて市民が知りたいこと」の情報発信について手順や発信方法を今後協議することに決定。
11月14日	病院PJ：もしバナゲーム	セイセイビル	久保田もしバナマイスター。参加者12人(会員7,非会員5)。アンケート提出12人
11月19日	介護PJ・生駒市との懇談	生駒市役所	生駒市の総合事業について地域包括ケア推進課にヒアリング
11月28日	第5回理事会	ららポート研B	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナについて市民が知りたいこと」について協議 ・介護PJ：第8期介護保険計画案に対するパブリックコメント(パブコメ)に意見提出する ・コロナにより忘年会中止
12月2日	生駒市立病院管理運営協議会	市立病院	伊木ま傍聴
12月23日	地域医療課との懇談	市役所	「コロナについて市民が知りたいこと」に関する質問について説明を受けた(石田課長・桐坂課長補佐 // 長島・伊木ま)。介護保険課から書面回答授受。
12月23日	ネットPJ：やまと西和ネット協議会事務局とのZOOM 懇談	自宅ほか	患者紹介時の画像情報提供方法について他協議会：田花氏 NPO:長谷川
12月26日	第6回理事会	ららポート研B	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナについて市民が知りたいこと」を会のHPに掲載する。 ・介護PJ：第8期介護保険計画案に対するパブコメと質問書を理事長名で市に提出する。 ・次の理事会でスマホを用いたZOOM 会議講習会開催 ・第9回理事会の日程を1/30に変更
2021年 1月15日	第8期介護保険事業計画案パブリックコメント提出	市役所	高齢施策課に提出
1月27日	ネットPJ・生駒市立病院との懇談	電話	「やまと西和ネット」がうまく利用されていないのではないか」について 病院事務部長岸田敏彦 NPO:長谷川
1月30日	第7回理事会	ららポート研B	<p>コロナ拡大に伴い理事長欠席、理事長の指名により、議長は伊木ま。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コロナについて市民が知りたいこと」、HP掲載内容を協議。 ・スマホを用いたZOOM 会議予行。

2月7日	ららまつり(オンライン開催)	北コミュニティセンターと自宅	会の紹介：伊木ま グループトークに参加：伊木ま・奥田・沢田
2月7日	ネットPJ:民生児童委員協議会との懇談	セイセイビル	「やまと西和ネット」の民生対象者訪問時宣伝について 浅間会長他1名 NPO: 加来元理事長・長谷川
2月23日	コロナについて市民が知りたいことを会のHPに掲載		掲載：伊木雅
2月27日	第8回理事会	ららポート研Bと自宅(ZOOM会議併用)	理事長の指名により、議長は奥田。 病院PJ:4,5月にもしバナゲームをオンラインで開催する。 介護PJ:アンケートを検討中 ネットPJ:やまと西和ネットへの生駒市のからの財政支援について意見交換
3月17日	ネットPJ:やまと西和ねっと協議会事務局とのZOOM懇談	自宅他	田花氏 // 長谷川・奥田・加来洋
3月19日	病院事業推進委員会	市役所	令和3年度生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書(案)について諮問あり、答申 委員出席：伊木ま・奥田 傍聴：沢田・長谷川・加来洋
3月22日	生駒市立病院管理運営協議会	市立病院	傍聴：伊木ま・沢田
3月27日	第9回理事会	ららポート研Bと自宅(ZOOM会議併用)	理事長の指名により、議長は奥田。 病院PJ:5/9にオンラインもしバナゲームを実施する。 介護PJ:アンケートの実施について協議。まずは市と懇談する。 ・今後のZOOM会議開催やオンラインイベントの実施のためにZOOMライセンス契約とパソコン等の機器を購入することを決定。 ・次年度総会の日程(5/29AM)と議案書作成分担を決定。
4月24日	第10回理事会	ららポート研Aと自宅(ZOOM会議併用)	理事長の指名により、議長は奥田。 5/9オンラインもしバナゲームの件、総会の開催方法、議案の確認、議案書作成と承認方法、総会準備、総会後の理事会での審議案件など協議。
5月7日	介護PJ:市との懇談		コロナで懇談中止、メールによる質問・回答を実施
5月9日	オンラインもしバナゲーム	自宅他	久保田もしバナマイスター。参加者16人(会員7,非会員9)

第1号議案・・2020年度事業報告及び事業収支決算報告

(特記事項) 新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)への対応について

1. 2020年度総会で示した方針

コロナ第2波が懸念される中で開催した総会において、当会の地域医療を守り育てる使命を果たすための方策を追及していくことが了承された。また2021年度の事業方針についてはこれまでどおりの活動が可能な場合を想定した提案であるが、コロナ禍で可能な活動方法を柔軟に採用することを確認した。

2. 実績

まず、市立病院や市と懇談し、コロナ対応の実情を確認した。市立病院におけるコロナ対応については市民の関心が高い内容であるが、コロナに関する偏見や誤解を生じる可能性を配慮して、この時点では公表しないこととした。その後、「コロナについて市民が知りたいことはなにか」、「市民への情報発信方法」について協議した。

市民が知りたい項目について、市や市を通して県に確認するなどして、Q&A形式でまとめ、2021年2月、「生駒市に住む私たちが知りたいと思うコロナへの対応」と題し、会のHPに掲載した。掲載時点では市立病院におけるコロナ対応についても、すでに県・市・市立病院から公表されていた内容をまとめ情報発信した(活動紹介 <http://ikomanoiryousakura.ne.jp/sub4faq1.html>)

また、生駒市との懇談において、コロナ対応についての市独自の情報発信を要請したが、コロナ禍対応に追われていて、情報発信は難しいとのことであった。

3. 評価

第1回理事会から第7回理事会まで毎回協議し、その後も理事会は開催しなかったものの、2/23にHPに掲載するまでの間、メール等を通じて役員間で何度も協議した。振り返ると2020年度の活動のかなりの時間をコロナ対応に要した。しかし、HPへのアクセスが不明であること、会への問い合わせなど1件もなかったことから、活動に対する外部からの評価については全く分からない。

その1. 2020年度事業報告 (2020年6月27日～2021年5月28日)

1-1. 2020年度事業計画に基づく事業について

定款第5条(事業の種類)に基づき記述する。

(1): 調査研究、提言などの事業 及び見学会、学習会、講演会などの事業

具体的な実施事業では定款の上記2つの事業は明確に分けられないため、1つにまとめて報告する。

(1-1) プロジェクトチーム(PJ)による活動

2020年度の事業方針に基づき、3つのプロジェクトを軸に活動を展開した。

(A)「長期的な生駒の地域医療・生駒市立病院の将来像を考えるプロジェクト」(略称:病院PJ)

<担当者> 伊木ま理事・奥田理事

<2020年度の活動総括>

1. 総会で示したPJの長期的な計画

- ①市立病院(医療の拠点)の役割を明確化し、市や市立病院に提案する。
- ②長期的な「生駒の地域医療の将来像」を考え、市や市立病院および関係者(市民も含む)に提案する。
- ③生駒市を「安心・安全に暮らせるまち」にするために、市や市立病院、地域医療と関連した様々な分野の人や事業所との連携構築をめざす。

2. 総会で示した2020年度の目標

前年同様、「市民の当事者意識の醸成」「地域医療構想を知る」「市民・市・市立病院・市医師会の対話」のうち、前年十分行えなかった「市民の当事者意識の醸成」「市民・市・市立病院・市医師会の対話」を進めること、加えて、コロナ禍の現状を活用した市民の当事者意識の醸成を挙げ、最終的には病院事業計画改定に向けた市民意見の取りまとめを行なうとした。

3. 実績

○7/8 オンラインインタビュー試行

市民(40代)の協力を得て生駒の医療や市立病院をテーマに実施した。対象は1人であったが、以前から課題と考えていた医療を自分事として捉え、地域医療や市立病院について考えている人、特に若い世代の少なさを再確認し、医療に関心が薄い若い世代へのアプローチ不足、市立病院の情報発信不足に改めて気づかされた。一方、生駒の医療について詳しい情報がもらえてよかったと評価頂いた。

○8/3 病院事業計画改定について地域医療課と懇談

指定管理者との協定や生駒市の病院事業のスキーム上、病院事業計画の改定は容易でないことが判明した。

○9/5 オンラインもしバナゲーム試行

○11/14 もしバナゲーム(セイセイビル)開催

講師:久保田千代美もしバナマイスター。会員7人、市立病院関係者2人、知人3人が参加。アンケートでは再度の参加希望や友人に参加を勧誘するとの声、オンライン開催の希望も多数あり、好評だった。

○5/9 もしバナゲーム オンライン開催

講師:久保田千代美もしバナマイスター。会員7人、非会員9人参加。男女同数、年代は20代~80代、半数が60歳以下。参加して良かったと回答した人は13人中13人(アンケート回収中につき暫定人数)。

○2021年3月開催の医療審議会は所用のため傍聴できなかった。西和構想区域地域医療構想調整会議の開催はなし。

4. 活動目標・方針再検討のため活動休止

第2回理事会において、病院PJの目標を病院事業計画の改定に向けた市民意見の取りまとめから、改定検討の基礎となる地域医療の将来像(生駒の地域医療計画)を考え取りまとめていくことへの

変更を検討したいと提案した。しかし、了解が得られず、最初の目標の継続を同意することになった。理事会で目標変更が受け入れられなかったことに対し、PJ 内での協議に時間を要すること、奥田理事が留学中であることを理由に、第 3 回理事会で、PJ の活動を奥田理事帰国まで休止したいと申し出、了解された。

1 月、奥田理事が帰国し理事会に出席するも、他の協議に時間がかかったこともあり、2/27 第 8 回理事会でこれまで同様、PJ としての取り組みの方向性や手法について簡単に説明することになった。PJ の活動目標の変更や今後のスケジュールなどは総会で説明することにした。

5. 評価と反省

2020 年度はコロナ禍の影響もあり、当初、4 回予定していたワールドカフェは実施できず、それに伴うニューズレターも発行できなかったが、複数回実施したもしバナゲームが、ワールドカフェに加え、対話や意見交換の手段として有効であることを確認できたことは今後の PJ の活動にとって大きな収穫であった。オンラインでインタビューやもしバナゲームを実施し、オンラインがリアルの代わりになることが確かめられたこと、オンラインが身近な手段になったことも収穫と考える。

一方、市民の当事者意識の醸成として、コロナ関連講演会を計画していたが、コロナ禍で会場を利用した講演会を開催しづらく、また、オンライン講演会については経験がなかったことなどから、実施できなかった。

(B) 「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」(略称:介護 PJ)

<担当者> 長島理事・湯川理事

<2020 年度の活動総括>

1. 2020 年度の総会方針は次の通り。

「総合事業」を前にすすめることとし、次の点を重点とする。

- (1) 「住民主体の生活支援サービスモデル事業」を軌道に乗せる。
- (2) 学習を通じて「総合事業」そのものの認識を深める。
- (3) 高齢者の生活援助の実態を把握し、問題点と課題を摘出して市に提起する。
- (4) 次期介護計画に盛り込むべき課題を摘出し、市に提起する。

2. 昨年度の方針に対しての実績

(1) 「住民主体の生活支援サービスモデル事業」については、市と協力して中地区で開始し、市主催のサポーター養成講座を 2020 年末から 2021 年初めにかけて実施、中地区には 4 つの支え合いグループができた。しかしその後新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、居住地での住民の行動が制限され、実際の活動に入れず 1 年が過ぎた。発足時点でのコロナ禍による活動自粛のダメージは大きく、活動再開を図ることは困難で、モデル事業を軌道に乗せることはできなかった。

(2) 「総合事業」についての学習会を開き、市の担当課から講師を招いての説明と質疑を行い、会として認識を深めることができた。

(3) 「総合事業」の趣旨である高齢者の生活支援について、どれだけの人がどんなことに支援を求めているかを把握することの必要から、次の活動を行った。

①市の委託アンケート調査結果を分析して中地区の概数的把握を行い、中地区に報告した。

②生活支援事業の中で、訪問型サービスの従前型もサービス A も実際のサービス受益者数が極めて低いことが分かり、何故こんなに少ないのかについて地域包括ケア推進課と共に現場の実情を調

査する必要があるとの認識で一致し、社会福祉協議会などに聞き取り調査を行った結果、数字が少ないことが現実を反映していてニーズそのものが少ないのか、対象者やニーズをつかみきれていないためなのかについて分からないという意見だった。

③そこから、実際にどれだけの高齢者が生活支援を必要としているかをつかむ目的で、生駒市担当課に実数調査の必要を説いたが、合意には至らなかった。

(4)「総合事業」に限らず次期介護保険事業計画に盛り込むべき課題については次期計画案の発表とパブリックコメント募集を受けて、パブコメ提出とともに生駒市への質問書を提出し、回答を得た。

3. 今後の課題

以上から現状の問題点と今後の課題が出てきた。

①最も力を入れてきた「住民主体の生活支援サービスモデル事業」をコロナ禍により軌道に乗せることができなかつたことは最大の痛手である。これを今後どのように打開していくかが課題となる。

②「総合事業」や第8期介護保険事業計画への取り組みを通じて確認できたことは、介護のニーズと介護サービスの提供者の実態を数字としてつかむことが必要であり、それを市としてできていないことが大きな問題だということが分かったということである。この実数をどのようにしてつかむかが今後の課題となる。

第8期介護保険事業計画案への質問の回答で市は「サービスの充足を把握するには、実人数を把握しても意味がなく、延べ人数で把握することが必要との考えです。」と述べているが、これについて検討する必要がある。

③第8期介護保険事業計画への質問と回答から見えてきた介護人材の確保に関して、介護する側の実態と対応の把握が市としても行われていないことが問題だという認識を持ち、その解決のために介護事業者・介護従事者・介護家族へのアンケート調査を理事会に提起したところ、市と相談して進めることが大切との意見をもらったので、その方向への取り組みが課題となる。

(C)「やまと西和ネットプロジェクト」(略称:ネットPJ)

<担当者> 長谷川理事

<長期的な計画>

① やまと西和ネットは多様な機能を持ったシステムであるが、将来救急時対応・PHR 機能の追加など市民としての要望をまとめていく。

② 既に奈良県内で2つのシステムが佐渡ひまわりネットという同一のシステムを基本としている有利さを生かし、このシステムの統合や周辺医療圏への拡張を目指す。

<2020年度の活動総括>

1. 2020年度の総会方針は次の通り。

①やまと西和ネットについて市民の理解と参加を推進する。

②やまと西和ネットの運用推進に向けて市・市立病院・医師会等関係諸団体と連携する。

2. 昨年度の方針に対しての実績

(1)「奈良県地域医療・介護連携 ICT 導入推進事業 モデル事業「宇陀けあネット」導入効果調査報告書」(令和2年3月 117頁)から住民・医療機関・介護施設それぞれの思いや参加動向を調査した。

(2)生駒市地域医療課と懇談し、市内施設に対しやまと西和ネットへの参加要請、費用補助、広報などについて要請。

(3)やまと西和ネットのメリットを見つける学習会実施(参加者 会員9人 会員外3人)。

(4)「やまと西和ネット」事務局と画像情報の提供・コロナ禍での役割・生駒市以外の参加などについてZOOM 会議2回実施。

(5)生駒市民生児童委員協議会会長等と懇談した結果、住民調査の時期に「やまと西和ネット」の宣伝をしてもらうため同意用紙と説明書を生駒市の全民生委員に配布(175人×2部)。

(6)当会からの第8期介護保険事業計画案のパブリックコメントに医療介護連携の中に「やまと西和ネット」の役割を入れるよう要望したところ、事業計画に追加された。

3. 今後の課題

(1)市民の理解と参加を推進する直接の活動はコロナ禍で対面での説明会が難しいなどもあり実施できなかった。今後当会としてZOOMの機器購入やライセンス取得をするのでこれを利用して説明会が出来ないか考えていく。

(2)市との懇談は出来たが市立病院・医師会とは実施できなかった。今後「やまと西和ネット」の事務局の動向を把握し、連携をとって懇談のテーマを見極めていく。

(3)長期的な計画の内「奈良県内で2つのシステムについての統合や周辺医療圏への拡張」については「やまと西和ネット」と「宇陀けあネット」が同一機能であることを確認したこと、「宇陀けあネット」導入効果調査報告書を詳細にチェック出来たことは前進だった。

(4)やまと西和ネット協議会の事務局が近大から別の所に移ることが判明したが、4月からどのような体制になるのかを確認して、次の3つの課題の進め方を検討する。

①やまと西和ネットへの市の財政支援の是非について

②協議会の中心的団体である医師会との懇談の実現について

③やまと西和ネットの有効活用が実感できる取組を、医療機関、介護施設、患者で実施するよう協議会に働きかける件

(1-2) おしゃべりサロン開催・・・未実施

(2)：ニュースやパンフレットの発行事業

①チラシの発行・・・オンラインもしバナゲーム(5/9)のチラシ発行

SNSによる案内と公共施設への配布と手渡しによる案内を行った(チラシは4/16に印刷したため2021年度に請求)。

②ニュースレターの発行・・・なし。

(3) 公的機関・医療機関・公益団体などとの連携事業

(3-1) 市や県との連携

①生駒市：

○出前講座(7/11 地域包括ケア推進課)、市との懇談(コロナ対応2回、病院PJ1回、介護PJ3回、ネットPJ1回)

○生駒市制50周年記念事業で「生駒市を支えてくれている人・団体」として市のHPで当会を紹介・・・ <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000024456.html>

(3-2) 市立病院との連携

- 8/21 コロナ対応やその他について事前に届けた質問に対し、懇談の場を設け、説明頂いた。
- ネットPJ:やまと西和ネットの件で電話で説明を受けた。

(3-3) 医師会、医療・介護事業所などとの連携

- 介護PJ：市内の地域包括支援センターの管理者1名と懇談(8/21)
- ネットPJ：やまと西和ネット事務局とのZOOM懇談2回(12/23, 3/17)

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

- ①生駒市自主学习グループフェスタはコロナ禍のため中止。
- ②生駒市市民活動推進センター ららまつり・・・2/7(オンライン開催)参加
- ③地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムはコロナのため開催中止

1-2. 組織活動について

(1) 国・県・市などへの報告書提出

- ①県への提出・・・事業報告書、役員変更届・役員名簿を提出
- ②内閣府・経産省からの調査票提出

(2) 会議

- ① 2020年度総会 6月27日(土) 9:35-11:40 たけまるホール 第6研修室
(正会員24名中、出席者16名、委任状3名)
- ② 理事会
理事長・副理事長選任のための臨時理事会1回 (総会終了後)
理事会 10回(第8,9,10回はZOOM会議併用)

(3) 会員の動向・・・退会・入会なし(2021年5月現在 正会員:24 賛助会員:団体1)

(4) 会報「はぐくむ」の発行・・・なし

(5) ホームページ・・・

- 4/19 新型コロナウイルス感染症に関するHP厚生労働省《新型コロナウイルスに関するQ&A》
(一般の方向け)を掲載
- 2/23 生駒市に住む私たちが知りたいと思うコロナへの対応のページを新設
- 4/24 もしバナゲームオンライン(5/9)の開催案内を掲載

その2. 2020年度事業収支報告及び決算

2-1. 2020年度決算書

(1) 貸借対照表

2021年3月31日現在 (単位：円)

科目	金額	備考
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	2,402,245	三井住友銀行 生駒支店普通預金
未収金	0	
流動資産合計	2,402,245	
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産	0	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産	0	
固定資産合計	0	
資産合計	2,402,245	
II 負債の部		
1. 流動負債	0	
2. 固定負債	0	
負債合計	0	
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,305,435	
当期正味財産増減額	96,810	
正味財産合計	2,402,245	
負債及び正味財産合計	2,402,245	

(2) 収支決算

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科目	予算額	金額	摘要
経常収支の部			*詳細は金銭出納帳に記載
I 経常収入			
1 会費収入	180,000	168,000	正会員 48,000円(20名分) * 4名未収分は銀行振込を依頼しま す。 賛助会費 120,000円
2 事業収入	0	0	
3 補助金・寄付金等収入			

①補助金収入(2018年度自主学習)	40,000	0	
②寄付金収入	0	0	
経常収入合計	220,000	168,000	
II 経常支出の部			
1 事業費			
1 地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業	325,000 (1)+(2)	19,994	やまと西和ネット・介護・病院 PJ
2 地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業			会場費・講師用お茶・印刷・郵送・消毒液・講師謝礼・フェイスガード
3 地域医療のためのニュースやパンフレットの発行などの事業	100,000	0	
4 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業	70,000	3,947	7/11 出前講座会場費・お茶
5 その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	135,000	0	
事業費合計	630,000	23,941	
2 管理費			
役員・職員の報酬	0	0	
事務所費	4,000	0	
消耗品費	10,000	2,063	鉛筆 封筒 コピー用紙
通信運搬費	10,000	12,701	総会・会員連絡 サーバー利用料
交通費	30,000	27,200	県外理事交通費補助・駐車場代
印刷製本費	10,000	3,520	理事会資料・総会資料・会員連絡
会議費	10,000	1,780	総会
管理費合計	74,000	47,264	
3 予備費			
予備費合計	100,000	0	
経常支出合計	804,000	71,205	
経常収支差額 (A)	-584,000	96,795	
III その他資金収入の部			
1 前年度繰越金	2,305,435	2,305,435	
2 利息	19	15	
その他の資産収入合計	2,305,454	2,305,450	
IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出	0	0	

その他の資産支出合計	0	0	
その他収支差額 (B)	2,305,454	2,305,450	
当期収支差額 (A)+(B)	1,721,454	2,402,245	
次期繰越収支差額	1,721,454	2,402,245	

* 備考

会費を銀行振込にて納入される方は、下記の口座へお願いいたします。

三井住友銀行 生駒支店 普通預金 4101175 特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会

2-2. 2020年度会計監査報告書

その3	(写)	2021年4月26日
特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会 理事長 長島 稔様		
		監事 宮内正敏 (写)
会計監査報告書		
2020年度 特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会の 会計(2020年4月1日~2021年3月31日)について、 下記の関係帳簿により監査の結果、その内容は正確であることを 認めます。		
記		
○収支計算書 ○現金出納帳 ○収入・支出関係書類 ○預金通帳		
三井住友銀行 生駒支店 預金種別 普通預金 口座番号 4101175 名義 特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会		
		以上

第 2 号議案・・2021 年度事業及び事業収支予算

(特記事項) 新型コロナウイルス感染拡大への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として全国に 2 度の緊急事態宣言が出され、その後さらに大きな第 4 波が起こり、予断を許さない状況が続いている。

＜当会設立と定款の趣旨に基づく独自の使命＞

当会には地域医療を守り育てる使命があり、この大規模感染に対してその使命を果たすために何ができ、何をすべきかを追求しなければならない。

- ① 1 年間の感染を経験して、with コロナの観点から医療介護等の現場で今後持続的に必要なことは何かを見極め、認識を市と共有し、対策を検討する。
- ② 長期の感染状態の中で市民を守るために何ができるかを考え、会としてできることを遂行する。
- ③ コロナ対応の観点を PJ 活動に組み入れて、コロナ対策に寄与する。

＜感染継続の中で活動をどう展開するか＞

- ① 新型コロナウイルス感染が予断を許さない現状で、事業方針については感染が持続することを前提に 3 密を避ける、SNS の活用、その他多様な方法を取りこんで活動方法を柔軟に採用して前に進める。
- ② 理事会等の会議については昨年度の経験を活かし、zoom 会議等を活用してより有効に意思疎通と決定ができるように努力する。

その 1. 2021 年度事業方針及び予算

1-1. 2021 年度事業方針

定款第 5 条(事業の種類)に基づき記述する。

(1) 調査研究、提言などの事業 及び見学会、学習会、講演会などの事業

具体的な実施事業では定款の上記 2 つの事業は明確に分けられないため、1 つにまとめて報告する。

昨年度に続き 3 つのプロジェクトを軸に活動を推進するが、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、各種活動が変化することを考慮して柔軟に対応していく。

(1-1) プロジェクトチーム (PJ) による活動

(A) 「長期的な生駒の地域医療・生駒市立病院の将来像を考えるプロジェクト」(略称:病院 PJ)
＜目標の変更＞

以前から課題と感じてきた若い世代へのアプローチや市立病院の情報発信の不足を昨年、再確認し、期限を切っていくまでに市や市立病院に提案する、市民(関係者・団体・事業所含む)との連携構

築する前に、まずは、若い世代も含めた多くの人が地域医療を自分事として捉え考えることが重要との結論に至った。大きな方向性の変更はないが、期限を設定することなく、地域医療のあるべき姿＝地域医療の将来像や生駒市立病院の将来像を多くの人と一緒に考えていくことを目標とする。

<2021年度の活動方針>

昨年に引き続き、

①市民の当事者意識の醸成と意見の聴取

もしバナゲームやワールドカフェ の実施

②地域医療構想を知る・・・地域医療構想調整会議や医療審議会での協議内容を注視する

③市民・市・市立病院・生駒市医師会との対話

コロナ、救急医療、災害医療などをテーマに適宜実施

(B)「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」(略称:介護PJ)

<2021年度の活動方針>

(1) 「総合事業」について

① 昨年度当会の提案と生駒市の施策が合致して開始された「住民主体の生活支援サービスモデル事業」を軌道に乗せることを重点課題として取り組む。ただし中地区でのコロナ禍による活動中断の影響で、当初の4つのグループがそのまま活動することを期待することはできないので、改めて実際的な方策を模索する。具体的には介護事業所による地域の高齢者への生活援助サービス事業と地域のボランティアによる生活援助サポート活動を結び付けて、地域でのサポート活動が動き出すことに尽力する。

② 「住民主体の生活支援サービスモデル事業」を軌道に乗せるための財政支援の改善を市に要望する。

③ 生活支援に対して、要支援者・要介護者・認定外の高齢者のニーズ(必要度)をつかみ、どれだけの人が必要としているのかその人数を把握するための取り組みを行う。

(2) 第8期介護保険事業について

① 介護のニーズを数字としてつかむ取り組みを行う。

② 介護する側の実態を把握する取り組みを行う。

具体的には介護事業所の介護人材の人数把握、介護人材の不足人数の現状と将来予測、介護人材獲得の方策を目指して市と協議し、市ができることとできないことを明らかにし、できることは市に働きかけ、市にできないことは当会又は当会と市が共同で行うようにして、できるところから手を付けていく。

(※ 4月に入ってコロナ感染症の拡大による奈良県の感染者の急増の波を受けて生駒市役所の対応も急増し、関係職員の激務が続き、当会との懇談時間が持てない状況が続いており、当分時間を取った話し合いができない模様。ただし介護人材への対策も急務であり、このコロナ下で対策をとることも欠かせないことから、何らかの方法を探って意見交換を行う必要がある。)

(C) 「やまと西和ネットプロジェクト」(略称:ネットPJ)

<2021年度の活動方針>

- (1) やまと西和ネットについて市民の理解と参加を推進する。
 - ① ZOOM を利用して少人数でも説明会を開くような活動をする。
- (2) 生駒市以外の自治体に対しやまと西和ネット運営協議会への参加を促す。
 - ① 王寺町などの自治体に対しやまと西和ネット運営協議会に参加してもらう懇談会を開くよう働きかける。
- (3) やまと西和ネットの運用推進に向けて、市・市立病院・医師会等関係諸団体と連携する。
 - ① 4月に行われたやまと西和ネット運営協議会の構成を踏まえて生駒市医師会と懇談する。この際コロナ患者治療が大きなテーマになっていることを考え医師会としての考え方を聞かせてもらうことと合わせて当会として対応する。
- (4) 当プロジェクトの担当者を増員する。
 - ① 全会員へこのプロジェクトへの参加を呼びかける。

(1-2) おしゃべりサロン開催・・・新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、可能になれば開催を検討する。

(2) ニュースやパンフレットの発行事業

- ① 当 NPO の活動によって得られた情報を広く社会に提供する。
- ② 各事業のためのチラシやニュースレターを必要に応じて発行する。

(3) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業

(3-1) 市や県との連携

- ① 新型コロナウイルス感染拡大への対応に関して必要な連携を行う。
- ② 生駒市の危機管理体制について・・・取り組み方法を検討する。
- ③ 生駒市立病院事業推進委員会、生駒市立病院管理運営協議会、県医療審議会、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、西和構想区域地域医療構想調整会議などを傍聴する。
- ④ 生駒市自主学习グループフェスタ・・・参加する
- ⑤ 生駒市市民活動推進センター ららまつり・・・参加する
- ⑥ PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(3-2) 市立病院との連携

- ① コロナ対応として市立病院と意見交換を行い、認識を共有し、必要に応じて市民に発信する。
- ② PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(3-3) 医師会、医療・介護事業所などとの連携

- ① コロナ対応として医師会・医療介護事業所等と意見交換を行い、認識を共有する。
- ② PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

- ①医労連との懇談会・・新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、可能になれば開催を検討する。
- ②地域との連携・協働の取組・・PJの活動を通じて連携・協同を追求する。
- ③地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム・・参加予定

1-2. 組織活動について

(1) 国・県・市などへの報告書提出

- ①県への提出・・役員変更届・役員名簿を提出する。
- ②法務局への提出・・今年度は法務局への提出年度に当たるので、必要書類を提出する。

(2) 会議等

- ①理事会・・原則として月に1回第4土曜日に開催する。コロナの感染状況を踏まえてzoom会議を取り入れた柔軟な方法で開催する。
- ②忘年会等・・会員の交流の場を設けることに取り組むが、コロナの状況により臨機応変に対応する。
- ③総会・・来年度のできるだけ早い時期に開催する。

(3) 会員の参加

- ①会員及び賛助会員の積極参加を促し、各種事業に参加する会員を増やす。
- ②会員を増やす努力を行う。
- ③会報「はぐくむ」の発行については、担当者の発掘が必要で今年度にはできるかどうかは不明。

(5) ホームページ・・

- ①2021年度総会後できるだけ早期に2021年度の理事長挨拶、事業計画、会計報告を掲載する。
- ②会から市民への発信事項、会の行事の予定、その他会の活動趣旨に関連ある情報等を随時掲載する。
- ③総会議案及び議事録をホームページに掲載する。理事会議事録については2019年度第2回理事会にてホームページに掲載することを決定したが、この決定を保留とし、再度理事会で検討することとする。
- ④ホームページへのアクセス数をカウントできる設定を検討する。

その2. 2021年度事業計画及び予算

2-1. 2021年度事業予算案

(1) 地域医療のための調査、企画立案、提言及び見学会、学習会、講演会などの事業

- ①病院PJに係る取組・・・・・187,000円
 - もしバナゲームやワールドカフェの実施・・・・・177,000円
 - (内訳)会場費(機器レンタル代を含む) 5,000円×5回=25,000円
 - 講師料 5,000円×3回=15,000円
 - 印刷代(資料・看板等) 10,000円
 - マイスター受講料 20,000円

もしバナゲームカード購入料	5セット	15,000円
チラシ印刷代	3,500円×6回	=21,000円
ニュースレター印刷代	3500円×6回	=21,000円
同上用デザイン料		50,000円

会議傍聴（医療審議会・地域医療構想調整会議等）のための交通費・・・5,000円
 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5,000円

②介護PJに係る取組・・・・・・・・・・350,000円

「住民主体の生活支援サービスモデル事業」関連費用 50,000円
 介護人材関連アンケート関連費用 300,000円

③やまと西和ネットPJに係る取組・・・100,000円

ネット体験記録ワークショップ(DVD 製作費) 100,000円

④おしゃべりサロン開催・・・・・・・・・・15,000円

⑤その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・10,000円

合計 662,000円

(2) ニュースやパンフレットの発行事業

合計 100,000円

(3) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業

①市や県の会議の傍聴提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・15,000円

(生駒市立病院事業推進委員会、生駒市立病院管理運営協議会、県医療審議会、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、西和構想区域地域医療構想調整会議など)

②中地区健康まちづくり協議会関連費用・・・・・・・・・・5,000円

③医師会、医療・介護事業所などとの懇談・・・・・・・・・・5,000円

④生駒市自主学习グループ・生駒市市民活動推進センターへの参加・・・5,000円

⑤地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムへの参加・・・30,000円

⑤その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・10,000円

合計 70,000円

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

①医労連との懇談・・・・・・・・・・・・・・・・・・5,000円

②新型コロナウイルス感染拡大への対応・・・100,000円

③その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・30,000円

合計 135,000円

2021年度総事業費・・・ 967,000円

2-2. 事業計画書

特定非営利活動に係る事業

2021年4月1日～2022年3月31日まで

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	対象者	支出見込 額 (千円)
(1)地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業 (2)地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業	①地域医療・市立病院に係る取り組み ②在宅医療・介護に係る取り組み ③やまと西和ネットに係る取り組み ④おしゃべりサロン開催 ⑤その他	適宜実施	主として市内の公共施設等、テーマ毎に適宜	会員・市民・県民など (会場費、講師謝礼、お茶代など)	<u>662</u> ①187 ②350 ③100 ④15 ⑤10
(3)ニュースやパンフレットの発行等事業	(1)(2)(4)などの予定や結果を広く社会に提供する	適宜実施		市民・県民など	<u>100</u>
(4)地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業	①市や県との連携 ②市立病院との連携 ③医師会、医療・介護事業所などとの連携 ④生駒市市民活動推進センター、自主学习グループ連絡会への参加 ⑤地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムへの参加 ⑥その他	適宜実施	テーマ毎に適宜	会員・市民・県民、地域住民など	<u>70</u> ①15 ②5 ③5 ④5 ⑤30 ⑥10
(5)その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	①医労連との懇談 ②新型コロナウイルス感染拡大への対応 ③その他	適宜実施	テーマ毎に適宜	会員・市民・県民など	<u>135</u> ①5 ②100 ③30

2-3. 2021年度事業予算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

科 目	金 額		
経常収支の部			
I 経常収入			
1 会費収入			
年会費			
正会員：2,400円/人×25人	60,000		
賛助会員	120,000	180,000	
2 事業収入	0	0	
3 補助金・寄付金等収入			
①補助金収入			
生駒市（生涯学習自主学习グループ補助金）	40,000		
②寄付金収入	0	40,000	
経常収入合計			220,000
II 経常支出の部			
1 事業費			
(1) 地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業			
(2) 地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業	662,000	← (1)+(2)	
(3) 地域医療のためのニュースやパンフレットの発行などの事業	100,000		
(4) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業	70,000		
(5) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	135,000	967,000	
2 管理費			
役員・職員の報酬	0		
事務所費	4,000		
消耗品費	10,000		
通信費（ホームページ含む）	15,000		
交通費	30,000		
印刷製本費	10,000		
会議費	10,000	79,000	
3 予備費	100,000	100,000	
経常支出合計			1,146,000
経常収支差額 (A)			-926,000
III その他資金収入の部			
1 前期繰越金	2,402,645		
2 利息	15		
その他の資産収入合計			2,402,660

1 固定資産取得支出	0	0	
その他の資産支出合計			0
その他収支差額 (B)			2,402,660
当期収支差額 (A) + (B)			1,476,660
次期繰越収支差額			1,476,660

第3号議案・・・2021年度人事

議員がNPO法人の理事長を務めることについての疑問払しょくに時間を費やすことができず、また理事長交代についても検討できなかつたため、2020年度に引き続き全員留任とする。

(1) 役員人事

理事長・・・長島稔(留任)

副理事長・・・長谷川惇(留任)

理事(50音順)・・・伊木雅之(留任)、伊木まり子(留任)、石堂吉輝(留任)、小田享子(留任)、
奥田陽子(留任)、熊谷江利子(留任)、沢田かおる(留任)、湯川直紀(留任)

監事・・・宮内正厳(留任)

(2) その他の人事

事務局、法務局への登記関連担当・・・伊木まり子理事(事務局長)(留任)、奥田理事(留任)

会計、自主学習グループ・ららポート担当、県への報告書提出担当・・・沢田理事(留任)

ホームページ担当・・・伊木雅之理事(留任)

第4号議案・・・議事録署名人の選任

議事録署名人として小田享子理事及び奥田陽子理事を提案する。

以上